

貸 金

(注) □欄は、該当事項にレ点を付すか、又は、■に反転させる。

請 求 の 趣 旨

- 1 □被告は、 □被告らは、連帯して、原告に対し、次の金員を支払え。
 - (1) 金 円 (元本)
 - (2) □確定利息金 円 □確定遅延損害金 円
 □上記金額に対する平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
 年 パーセントの割合による金員
 - (3) □上記(1)の金額に対する
 □平成 年 月 日から
 □訴状送達の日翌日から
 支払済みまで年 パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は、□被告 □被告ら の負担とする。
- 3 この判決は、仮に執行することができる。

紛争の要点 (請求の原因)

- 1 原告は、□被告 □被告 に対し、次のとおり金員を貸し渡した。
 - (1) 貸付日と金額
 □平成 年 月 日 金 円
 □平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
 合計金 円 (□別紙記載のとおり)
 - (2) 返済期の定め □あり
 □平成 年 月 日
 □平成 年 月 日から平成 年 月 日
 まで毎月 日限り金 円の分割払い
 □別紙のとおり
 □なし
 - (3) 特 約 □利息 (年 パーセント)
 □遅延損害金 (年 パーセント)
 □期限の利益喪失の定め □あり □なし
- 2 □被告 は上記契約を連帯保証した。(□書面あり)
- 3 返済状況 □返済あり
 □平成 年 月 日 金 円
 □平成 年 月 日から平成 年 月 日
 まで合計金 円 (□別紙記載のとおり)
 □全く返済なし
- 4 □期限の利益喪失日 平成 年 月 日
- 5 その他参考事項

添 付 書 類

- 法人登記事項証明書 (資格証明書) □金銭消費貸借契約書 □連帯保証契約書
- 借用書 □念書 □メモ □